

報道関係者各位

2025 年 10 月 1 日
野村不動産コマース株式会社

リリースカテゴリ：商業施設

野村不動産コマースが運営・管理する商業施設7施設にて催事・イベント出店募集ポータルを新設 —「ショップカウンター エンタープライズ」導入により、催事・イベント出店希望者の利便性を大幅向上—

本ニュースリリースのポイント

1. オンラインで、区画の広さ・設備・環境など詳細情報を写真や図面つきで確認ができ、現地確認前でも検討可能
2. 期間・広さ・設備などの希望条件で一括検索が可能で、最適な出店場所を効率的に探す仕組みを提供
3. 問い合わせ・商談・契約・入館手続きまでをワンストップで対応することで、スピーディな出店が可能

野村不動産コマース株式会社(東京都港区／代表取締役社長：鶴沼孝之)は、株式会社 COUNTERWORKS（本社：東京都港区／代表取締役 CEO：三瓶直樹）が提供する商業施設向けリーシング DX システム「ショップカウンター エンタープライズ」を導入し、当社が運営・管理する商業施設における催事・イベント出店区画の募集情報を掲載する専用ポータルサイト（以下、「本ポータル」）を 2025 年 9 月 8 日に新たに開設いたしました。

1. 専用ポータルサイト開設について

当社の運営する商業施設において、近年ニーズが高まっている短期の催事出店やイベント開催は、これまで各施設個別に募集や対応を行ってきました。出店希望者がよりスムーズに必要な情報にアクセスでき、お問い合わせから各種手続きをオンラインで完結できる環境を整えることで、短期の催事出店やイベントなど新たにビジネス展開を考える事業者さまの利便性向上を図ります。本ポータルでは、KAMEIDO CLOCK や bono 相模大野、SoCoLa シリーズ 合計 7 施設 約 40 区画の情報を掲載、順次区画数を拡充してまいります。

また、今後も本ポータルを始めとした DX の活用を通じて価値創造を行い、施設価値の向上と共に、ステークホルダーの皆さまに貢献できる取り組みを実施してまいります。

(1) 本ポータル導入施設一覧 (募集サイト URL：<https://space.nomura-rp.co.jp/about>)

No	施設名	所在
1	KAMEIDO CLOCK	東京都江東区亀戸 6 丁目 31-6
2	bono 相模大野ショッピングセンター	神奈川県相模原市南区相模大野 3 丁目 3-2
3	SoCoLa 南行徳	千葉県市川市南行徳 2 丁目 2 0-2 5
4	SoCoLa 武蔵小金井クロス	東京都小金井市本町 6-2-30
5	SoCoLa 所沢	埼玉県所沢市北秋津 592 番 他
6	SoCoLa 日吉	神奈川県横浜市港北区箕輪町 2 丁目 7-42
7	SoCoLa 塚口クロス	兵庫県尼崎市南塚口町 2 丁目 1-3

2. 導入サービス「ショップカウンター エンタープライズ」について

「ショップカウンター エンタープライズ」は、商業施設のテナント募集業務を効率化するクラウド型管理システムです。施設ごとのスペース掲載、問い合わせ対応、営業・契約管理、稼働状況の把握などを一元管理できるため、施設運営者と出店希望者双方の業務負担を軽減し、スムーズな出店を支援します。

募集サイト URL : <https://space.nomura-rp.co.jp/about>

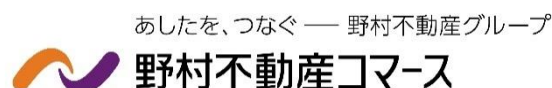
<本ポータル画像イメージ>



3. 会社概要

社名	株式会社 COUNTERWORKS（カウンターワークス）
本社所在地	〒106-0032 東京都港区六本木 1 丁目 8-7 MFPR 六本木麻布台ビル 9F
代表者	代表取締役 CEO 三瓶直樹
URL	https://counterworks.co.jp/

社名	野村不動産コマース株式会社
本社所在地	〒105-8345 東京都港区芝浦一丁目 1 番 1 号 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S 12 階
代表者	代表取締役社長 鵜沼孝之
URL	https://www.nomura-rp.co.jp/



野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

＜経営計画における 3 カ年計画の事業方針＞

基本方針		グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。
事業方針	基幹事業	分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。
	注力領域	持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。
		1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
		2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
		3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化
		4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
		5 戦略投資（M&A）による成長の加速

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、今後 3 カ年で注力する事業方針を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。